

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	1			音楽	2

年間指導目標
生涯にわたって音楽を愛好する態度を育み、高めていく 読譜力の基礎を身に付け、様々な楽器の基礎的な奏法を身に付ける

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	・アルトリコーダーに親しもう ・ギターに親しもう	・楽器の基本的な奏法を身に付ける	・読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	・アルトリコーダーの上達を目指そう ・ギターの上達を目指そう	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させ、強化する
2	前半	・混声三部合唱にチャレンジしよう	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する	・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
	後半	・楽器でアンサンブルしてみよう	・自分で身に付けた技術を他者に教えたり、共有することで理解を深める	・他者とアンサンブルする楽しみを味わうことで音楽への愛好心を高める
3	－	・音楽史を学んだ上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう	・音楽の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する	・音楽の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	2			音楽	1

年間指導目標
中1での学習をベースに生涯にわたって音楽を愛好する態度を育み、さらに高めていく 読譜力、表現力をさらに高めていく

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	・アルトリコーダーの上達を目指す	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、なるべく幅広い音域を使用し、表現の工夫をする。 中1での学習を土台に、演奏をより効果的にする工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させ、強化する。リコーダーの全音域を演奏できる
	後半	・混声三部合唱にチャレンジしよう	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する	・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる
2	前半	・ギターの上達を目指す	・これまでの学びを土台にさらに難しいコードにチャレンジする	・一般的なコードを習得し、歌や楽器の伴奏ができる
	後半	・混声三部合唱にチャレンジしよう	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。より多彩な表現を目指し、楽想記号などに注目させる	・楽譜をより深く読み込むことで、音楽の表現を広げる
3	—	・音楽史を学んだ上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう。クラシック音楽だけではなく、ポピュラー音楽にも触れよう	・音楽の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する	・音楽の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	3			音楽	1

年間指導目標
3年間の総まとめを行い、生涯にわたって音楽を愛好する態度の完成を目指す ジャンルにこだわらず様々な音楽に触れることで視野を広げる

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	・アルトリコーダーの基本的な技術を生かし、より複雑な表現にチャレンジしよう	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させる。高音部譜表以外も読めるように努力する
	後半	・ギターの基本的な技術を生かし、より複雑な表現にチャレンジしよう	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させる。高音部譜表以外も読めるように努力する
2	前半	・混声三部合唱の表現を高めよう	・混声三部合唱で美しくハーモニーを表現する。歌詞の意味を歌で表現する	・仲間とハーモニーを作ることの楽しさを味わわせる。これまでの学習を土台により深い表現に挑戦する
	後半	・色々な楽器を選択し、器楽アンサンブルに取り組もう	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする。管楽器や打楽器を組み合わせより多彩なアンサンブルを目指す	・読譜力と演奏能力を高め、色々な楽器で合奏する能力を養い、生涯にわたって音楽を愛好するきっかけ作りを意識する
3	—	・音楽史と他の科目の関連性を理解した上で、主要作品を鑑賞し、音楽の美しさを味わおう ・日本及びアジア諸国の音楽に触れ、音楽の世界を広げる	・音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、自分なりに言葉で表現する	・音楽の歴史と人類の歴史の相関性や作品の美しさや多様性を味わい、音楽をより愛好する態度を育む

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高	1	普通	芸術	音楽	2

年間指導目標
中学での学びを生かし、より芸術の深みに触れる 生涯にわたって音楽を愛好する心情を育む

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	・アルトリコーダー、木琴、鉄琴、ギター、ミュージックベルなどの基本的な技術を定着させ、表現を工夫しよう	・楽器の基本的な奏法を身に付けた上で、表現の工夫をする	・読譜力と演奏能力を定着させる
	後半	・日本語以外の歌曲に親しもう	・中学での歌唱を土台に、諸外国の音楽に触れる	・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
2	前半	・アンサンブルにチャレンジしよう	・さまざまな楽器や歌唱を用い、仲間と音楽を作る楽しさを味わう	・仲間と音楽を作ることの楽しさを味わわせる
	後半	・日本語以外の歌曲を歌いこなそう	・1学期の歌唱を土台に、外国語の歌唱能力を高める	・歌うことの楽しさと、音楽の多様性を感じ取らせる
3	－	・音楽だけではなく、様々な芸術との関連性を学ぶことで、芸術の価値をより味わおう	・音楽だけではなく、美術など様々な芸術との関連性を学ぶ	・音楽だけではなく、美術など様々な芸術との関連性を学び、音楽以外の芸術にも親しむことで、豊かな人生を歩む一助とすることを目指す

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	1		芸術	美術	2

年間指導目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	文字で楽しく伝える	・ 目的に応じてデザインされた文字に関心を持ち、伝えるための工夫や、デザインのよさや美しさを感じ取る。 ・ 文字のデザインに関心を持ち、表す対象のイメージや伝えたい内容をもとに主題を生み出す。	・ 目的に応じてデザインされた文字の特徴を、形や色彩、構成などに着目して捉える。 ・ 自分の見方や感じ方を大切にして、形や色彩が見る人に与える効果を理解し、見通しをもって表す。
	後半	あかりがつくる空間	・ さまざまなあかりのデザインに関心を持ち、設置する場所や使う目的、生活との関わりなどの条件をもとに主題を生み出す。 ・ 材料の特性を生かし、形や色彩などを工夫して制作する。	・ 形や色彩、材料、光が見る人に与える効果を理解し、見通しをもって、工夫して表す。 ・ 設置する場所や目的を考えながら主題を生み出し、効果的な表現の構想を練る。
2	前半	心を動かすアニメーション	・ アニメーション作品のよさや楽しさに関心を持ち、アニメーションの効果を生かして表したいことから主題を生み出す。	・ 形や色彩、材料などからアニメーションの特徴を捉え、意図に応じて工夫して表す。 ・ アニメーションの効果を生かして表したいことをもとに主題を生み出し、自分なりに工夫して楽しい表現の構想を練る。
	後半	暮らしをいろどる文様	・ 世界の文様に関心を持ち、飾るものや使う場面などを考え、身の回りのものなどからイメージを広げ、主題を生み出す。	・ 文様の形や色彩、構成などの効果を知り、意図に応じて見通しをもって表す。 ・ 自分の考えや見方を大切にして、文様を表したり鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。
3	－	今の自分、これからの自分	・ 自画像など自分を表した作品に関心を持ち、今の自分を見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出す。	・ 表したい自分を形や色彩、イメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。自分を見つめて考えたことをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	2		芸術	美術	1

年間指導目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	鉛筆デッサン	構図や明暗などを工夫し、鉛筆や練り消しゴムの特徴をいかして制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近にあるものを見つめなおし、構図やタッチなどを工夫して鉛筆であらわす。
	後半	心の中の風景をあらわす	記憶の中にある風景に自分の気持ちをどう重ねて表すかを考えて制作する。写真などを利用して、構図や色彩、技法などを工夫して制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心の中の風景を形や色彩、光から捉え、自己の意図に応じて素材や技法を選び、あらわす。
2	前半	ポスター制作	メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。主題をもとに、作品形態や構成、配色やキャッチコピーなど工夫して制作する。	形や色彩、キャッチコピーなど見る側に与える効果を理解し、計画的に制作する。
	後半	「ゲルニカ」鑑賞	「ゲルニカ」を鑑賞し、作家の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取る。感じたことや考えてことを話し合い、仲間の考えに興味を持ち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、明暗などが感情にもたらす効果や作品の造形的な特徴をもとにピカソが「ゲルニカ」に託した思いを知る。
3	－	石ころコピー	対象をよく観察し、形や色彩の特徴を捉え、軽量粘土を使用した形の形成と色の再現を追及する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	対象を様々な角度から見ることの大切さを知り、形成と色づくりの追求を学ぶ。身近にある自然物の美しさや面白さを知る。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
中学	3		芸術	美術	1

年間指導目標
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	地域の魅力を表すパッケージ	・地域の魅力を表したデザインに関心をもち、自分が住む地域の魅力から感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出す。 ・主題をもとに、形や色彩、材料などを工夫して制作する。	・地域の魅力から感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、効果的な表現の構想を練る。 ・自分の考えや見方を深めながらデザインの構想を練ったり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。
	後半	環境とともに生きる彫刻	・自然や公園の中などに置かれた彫刻を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ・材料の特性を生かし、考えたことをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練り、活動に主体的に取り組む。	・材料の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 ・自分の見方や感じ方を深めながら創造的な構想を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。
2	前半	型と色の挑戦	・抽象的な表現に関心をもち、自分の感情や思いなどから主題を生み出す。 ・形や色彩の組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。	・作品のよさを形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。 ・自分の感情や思いなどをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。
	後半	みんなのためのデザイン	・ユニバーサルデザインに関心をもち、多くの人にとっての使いやすさや安全性について考え、見方や考え方を深める。	・自分の見方や感じ方を深めながら、ユニバーサルデザインを鑑賞する活動に主体的に取り組む。
3	－	空想の世界へ	・空想の世界を表した表現に関心をもち、現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出す。	・空想の世界の表現を、形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。 ・夢や想像したことから主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高校	1		芸術	美術	2

年間指導目標
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	鉛筆デッサン「身近なものを描く」	構図や明暗を工夫し、鉛筆や練り消しゴムの特徴をいかして制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近にあるものを見つめなおし、構図やタッチなどを工夫して鉛筆であらわす。
	後半	ロゴマークのデザイン	情報をわかりやすく伝えるデザインに関心を持ち、内容と伝える相手から作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。形や色、構成などを工夫して制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	伝えたい情報を整理し、見る人の印象に残り、場所や目的に合ったマークをデザインする。
2	前半	パッケージデザイン	パッケージデザインに関心を持ち、使う目的から形や色、材料構造などの構想を練る。形や素材、構造などを工夫し、計画的に制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	価格や販売される場所などを考え、形や材料、配色などを工夫して情報をわかりやすく伝え、魅力的なパッケージをデザインする。
	後半	想像した世界を描く	想像した世界の表現に関心を持ち、現実にはないことを想像することから主題を生成する。主題をもとに形や色、構図などの構想を練り、材料や表現方法を工夫して制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、様々な技法や材料を使って想像の世界をあらわす。
3	－	煮干しを作る	対象をよく観察し、材料や用具をいかして制作する。完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	対象をよく観察して、量感や質感などを素材の特性を活かしてあらわす。混色や重色で対象の色をあらわす。

中高	学年	コース	教科	科目	単位数
高校	1		芸術	書道	2

年間指導目標
書道の古典の臨書を通して表現の多様性を学び、それに基づいて自己の表現力を培う。芸術を尊ぶ心を養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前半	書の芸術性、書の美を求めて。 楷書の学習。	九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔 聖教序の鑑賞と臨書。	三種の古典の比較をとおしてそれ ぞれの特徴と書法を理解し、楷書 の基本的な用筆法を習得する。
	後半	楷書の学習。	鄭羲下碑と牛橛造像記の鑑賞と臨 書。	両古典の比較をとおしてそれぞ れの特徴と書法を理解し、その表現 方法を習得する。
2	前半	行・草・篆書の学習。	蘭亭序の観賞と臨書。 蘭亭十三 跋の鑑賞と臨書。 楷書と行書 の比較。 篆書と草書の 表現学習。	規範となる行書を生み出した王羲 之の書道史上の重要性を理解す る。趙孟頫の蘭亭序の学習と態度 と成果を理解する。
	後半	隸書の学習。	隸書の特徴。曹全碑の鑑賞と臨 書。木簡の鑑賞と臨書。	基礎的な隸書の学習により、隸書 の特徴を理解し、用筆、運筆、結 構法を習得して表現力を高める。
3	—	書道作品制作。	楷書・行書・草書・篆書・隸書・ 仮名を素材にして、自由に書く。	自分にしか表現できない書作品を 制作する。